

Life Design Books [LIST]

美しい暮らしをつくる本。

暮らしのヒントをくれる本。

●名宿で眺める、美しい本
『SHOOWA DESIGN』Georges Meurant (Thames&Hudson)
『MITSUKO MIWA』三輪美津子 (1223現代絵画)
『数寄屋』伊藤ていじ、二川幸夫、田中一光 (淡文新社)
『マナスル1952〜3』『マナスル1954〜6』日本山岳会/編 (毎日新聞社)
『西 音松 味で勝負や 美味しい昔の京料理』森須滋郎 (鎌倉書房)
●マイク・エーブルソン
『Demian』Hermann Hesse (Penguin Books)
『HOW BUILDINGS LEARN What happens after they're built』Stewart Brand (Penguin Books)
『THE FAIRY TALES OF HERMANN HESSE』Hermann Hesse (Bantam Books)
●深澤直人
『Zbyněk Sekal a věci se zvolina berou pred se』Marie Klimešová (Arbor vitae)
●中原慎一郎
『春夏秋冬いのちを語る』山尾三省 (図書出版南方新社)
『空気感 (アトモスフェア)』ペーター・ツムトア/著、鈴木仁子/訳 (みすず書房)
『琥珀の眼の兎』エドマント・ドゥ・ヴァール/著、佐々田雅子/訳 (早川書房)
●柴崎友香
『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』フィリップ・K・ディック/著、浅倉久志/訳 (ハヤカワ文庫SF)
『人生の短さについて 他2篇』セネカ/著、中澤 務/訳 (光文社古典新訳文庫)
『『思春期を考える』ことばについて』中井久夫 (ちくま学芸文庫)
『私的昭和史 桑原甲子雄写真集 下巻 満州紀行 東京戦後篇』桑原甲子雄 (毎日新聞社)
●ポール・スミス
『CHRISTO AND JEANNE-CLAUDE』Jacob Baal-Teshuva, Wolfgang Volz (Taschen)
『カーサ・バラガン』斎藤 裕 (TOTO出版)
●ライアン・コンダー
『HANDCRAFTED MODERN』Leslie Williamson
●中村好文
『住み方の記』西山卯三 (文藝春秋新社)
『わたしの家——痕跡としての住まい』柏木 博 (亜紀書房)
『地球家族 世界30か国のふつうの暮らし』マテリアルワールド・プロジェクト (TOTO出版)
●私の住居・論』林 昌二 (丸善)
『父の縁側、私の書斎』樫ふみか (新潮文庫)
『建築有情』長谷川 竜 (中公新書)
『住まいの手帖』植田 実 (みすず書房)
『住宅誌本』中村好文 (新潮社)
●仕事場のセンス
『The Mill』Matthias Schaller
『Spencertown』Ellsworth Kelly
『Traces d'une Amitié』Alberto Giacometti
『Giorgio Morandi's Studio』Gianni Berengo Gardin
『Atelier Panamarenko』Panamarenko (POST)
『Furniture』Donald Judd
『DIE MULTIPLES』Joseph Beuys
『Artist's Landscape』Georgia O'Keeffe (POST)
『Andy Warhol』Billy Name, Stephen Shore
『On the Other Side of the CAMERA』Arnold Crane
『ARTISTS' STUDIOS』David Seidner (POST)
●部屋と本
『ノペライズ・テレビジョン』天久聖一 (河出書房新社)
『プリンセスメゾン』池辺 葵 (小学館)
『雨の日はソファで散歩』種村季弘 (ちくま文庫)
『家族シアター』辻村深月 (講談社)
『正しい家計管理』林 総 (WAVE出版)
『なにのせる?』鹿兒島 睦 (文化出版局)
『瓜食ロボット』岩岡ヒサエ (集英社)
『新装版 もの食う話』文藝春秋/編 (文春文庫)
『人と料理』馬場わかな (KTC中央出版)
『日本のすごい味 おいしさは進化する』平松洋子 (新潮社)
『ドレス・アフター・ドレス クローゼットから始まる冒険』中村和恵 (平凡社)
『FASHION TRIBES GLOBAL STREET STYLE』ダニエーレ・タマーニニ/著、江口研一/訳 (青幻舎)
『Pitti PEOPLE イタリア男のスタイルブック』谷本ヨーコ (ビー・エヌ・エヌ新社)
『ぼろし』トミー・ウンゲラー/作、たむらりゅういち、あそくみ/訳 (評論社)
『レキシントンの幽霊』村上春樹 (文春文庫)
『ソロー日記 秋』H.G.O.ブレーク/編、山口 晃/訳 (彩流社)
『FANTASTIC WORLD』ひらのりょう (リイド社)
『自己流園芸ペランダ派』いとうせいこう (河出文庫)
『東京窓景』中野正貴 (河出書房新社)
『夜空はいつでも最高密度の青色だ』最果タヒ (リトルモア)

『Bath Views』Bath Views Project/編著 (TOTO出版)
『マンガ さ道 マンガで読むサウナ道』タナカカツキ (講談社)
『一人の男が飛行機から飛び降りる』バリー・ユアグロー/著、柴田元幸/訳 (新潮文庫)
『塩素の味』バスティアン・ヴィヴェス/作、原 正人/訳 (小学館集英社プロダクション)
『別府フットマラソン』澤西祐典 (書肆俣尻房)
『3秒』マルク=アントワーン=マチュー/作、原 正人/訳 (河出書房新社)
『ねむたいひとたち』M.B.ゴフスタイン/作、谷川俊太郎/訳 (あすなろ書房)
『ファンタジーとSF・スチームバンクの世界』海野 弘/監修・解説 (バイ・インターナショナル)
『ブランケット・ブルームの星型乗車券』吉田篤弘 (幻冬舎)
『波よ聞いてくれ』沙村広明 (講談社)
●長尾智子
『marie claire COOK BOOK』Nigel Slater
『Real Cooking』Nigel Slater
『世界の料理』タイムライフブックス
『週刊朝日百科 世界の食べもの』『百味菜々』横山夫紀子、秋山 茂 (リポレポート)
●冷水希三子
『祝いの料理』土井善晴 (テレビ朝日)
『Antonio Carluccio's ITALIA』Antonio Carluccio、Alastair Hendy (Quadrille Publishing)
『百味菜々』横山夫紀子、秋元 茂 (リポレポート)
『バリジャンのレシピ』アレクサンドル・カマス/著、上野万梨子/訳 (文化出版局)
●山本千織
『太平洋／東南アジア料理』ラファエル・スタインバーグ (タイムライフブックス)
『スチームフード』長尾智子、福田里香 (柴田書店)
『ことばの食卓』武田百合子/著、野中ユリ/絵 (ちくま文庫)
『私のタイ料理』氏家昭子 (柴田書店)
●江口宏志 (菓茶と酒)
『THE PLANT KINGDOMS OF CHARLES JONES』Sean Sexton, Robert Flynn Johnson, Alice Waters (Thames & Hudson)
『フンボルトの冒険 自然という (生命の網)の発明』アンドレア・ウルフ/著、鍛原多恵子/訳 (NHK出版)
『植物記』埴 沙那 (福音館書店)
『人間は料理をする 下』マイケル・ポーラン/著、野中香方子/訳 (NTT出版)
『飲食事典』本山孜舟 (平凡社)
『裸の王様』開高 健
『ブラックの朝』白石かずこ
『一艘のカヌー』航海譜 スペースへ漕ぎだすものたち』白石かずこ
『ねこに未来はない』長田 弘
●愛の本
『愛の山田うどん 廻ってくれ、俺の頭上で!!』北尾トコ、えのきどりちろう (河出書房新社)
『LOVE DOLL×SHINOYAMA KISHIN』篠山紀信 (小学館)
『わたしが一番きれいだったとき』茨木のり子 (毎日コミュニケーションズ)
『弟の夫』田亀源五郎 (双葉社)
『今夜、すべてのパーで』中島らも (講談社文庫)
『愛あるところに神あり』レフ・トルストイ/著、北御門二郎/訳 (あすなろ書房)
●贈る本
『ゑ』山本昌男
『きこえる?』はいじまのぶひこ (福音館書店)
『CHANGING JAPAN SEEN THROUGH THE CAMERA』朝日新聞社/編
『あたらしい日用品』小林和人 (マイナビ ブックス)
●もの選びの本
『いのちの窓』河井寛次郎 (東方出版)
『SPOON』DANIEL ROZENSZTROCH (POINTED LEAF PRESS)
『ファンタジア』ブルーノ・ムナーリ/著、萱野有美/訳 (みすず書房)
『既にそこにあるもの』大竹伸朗 (新潮社、ちくま文庫)
『モダンデザインの秀作135 白陶磁器・透明ガラスのプロダクト』SD編集部/編 (鹿島出版会)
『芸術としてのデザイン』ブルーノ・ムナーリ/著、小山清男/訳 (ダヴィッド社)
『THE MAGIC OF A PEOPLE』(The Viking Press)
『現代日本の陶芸 第十三巻 「民藝と個人作家」』水尾比呂志 (講談社)
『日本の郷土玩具』 菌部 澄/撮影 (美術出版社)
『現代アメリカ★デザイン史』A.J.アール/著、永田 喬/訳 (岩崎美術社)
『欧州の家具と古民具』福地通祐、柳 重彦、田島 充 (光琳社)

『DESIGN 1935-1965 WHAT MODERN WAS』(Harry N Abrams Inc)
●絵本
『セーラーとベッカ、町へいく』ヨックム・ノードストリューム/作、菱木晃子/訳 (偕成社)
『アンリくん、パリへ行く』ソール・バス/絵、レオノール・クライン/文、松浦弥太郎/訳 (Pヴァイン・ブックス)
『へびのクリクタート ミー・ウンゲラー/作、中野完二/訳 (文化出版局)
『アブアアとアブブブ』長 新太 (ピリケン出版)
『しょうぼうねこ』エスター・アペレル/作、藤田圭雄訳 (文化出版局)
『ジルベルトとかぜ』マリー・ホール・エッツ/作、たなべいずり/訳 (富山房)
『どっこどうぶつえん』中村至男 (福音館書店)
『テーブルのうえで』なかえよしを/作、上野紀子/絵 (講談社)
『ありこのおつかい』いしいももこ/作、なかがわそや/絵 (福音館書店)
『ぼりぼりにゃんこ』ひがしくんべい (復刊ドットコム)
●杉本博司、千 宗屋 (逆説的な生き方)
『千利休 無言の前衛』赤瀬川原平 (岩波新書)
『『待つ』ということ』鷗田清一 (角川選書)
『一休宗純 狂雲集』柳田聖山/訳 (中公クラシックス)
『ドリアン・グレイの肖像』オズカー・ワイルド/著、福田恆存/訳 (新潮社)
『始源のもどき』磯崎 新 (鹿島出版会)
『マリファルトの手紙』柴田治三郎/編訳 (岩波文庫)
●葛西 薫、服部一成
『ジョン・レノンPLAYBOYインタビュー』ジョン・レノン『暗中俄索中』横尾忠則
『一米七〇種のブルース』横尾忠則
『うるつき夜太』柴田練三郎
『不道徳教育講座』三島由紀夫
『八十八』中川一政
『草・管・沼』室生屋星
『MALER, ARCHITEKT, TYPOGRAF, FOTOGRAF』EL LISSITZKY
『Menschlich』Christian Boltanski
『非色』有吉佐和子
『世界推理名作全集5』ベントリー・シムノン
『芽むしり・仔撃ち』大江健児
『陸枕草』橋津魚舟
『語るピカソ』フラッサイ
『誤解』田村隆一
『裸の王様』開高 健
『ブラックの朝』白石かずこ
『一艘のカヌー』航海譜 スペースへ漕ぎだすものたち』白石かずこ
『ねこに未来はない』長田 弘
●Beuys. Die Revolution sind wir』Joseph Beuys
『DADA』CENTRE POMPIDOU
『文体練習』レーモン・クノー
『父』嵩 文彦
●飾る本
『HENRI'S WALK TO PARIS』Saul bass
『Between Maple and Chestnut』Terri Weifenbach
『ERWIN WURM』Erwin Wurm
『WALD』Gerhard Richter
『WOODCUT』Bryan Nash Gill
『ON THE BEACH』Richard Misrach
『On The Beach』Elliott Erwitt
『Swiss Photobooks from 1927 to the Present』Peter Pfrunder ほか
●猫
『猫語の教科書』ポール・ギャリコ (ちくま文庫)
●眠る前にめる図鑑
『Fantastic Dozen』荒俣 宏/編
『歴史の歴史』杉本博司
『夢をみた』ジョナサン・ポロフスキー
『ポケット俳句歳時詠』山口青柳、石塚友二/編 (平凡社)
『情報の歴史』松岡正剛
『起こらなかった世界についての物語』三浦文也 (彰国社)
『粘園〜驚くべき生命力の謎〜』松本 淳、伊沢正名 (誠文堂新光社)
『宙ノ名前』林 宛次 (角川グループパブリッシング)
『死ぬ前に味わいたい1001食品』リス・ブランクリン 他 (産調出版)
『原色牧野植物大圖鑑 (合弁花・離弁花編)』牧野富太郎
●庭
『緑のアイデア』石原和幸 (WAVE出版)
●旅
『BUILDINGS WITHOUT ARCHITECTS』John May (Rizzoli)

『サバイバル時代の海外旅行術』高城 剛 (光文社新書)
『中南米スイッチ』旅音 (新紀元社)
『シティ・ガイドニューヨーク』(英語版) Louis Vuitton
『原色日本鳥図鑑』加藤庸二 (新星社)
『new china architecture』Xin Ruan (Peri plus Editions)
『ハプスブルク帝国を旅する』加賀美雅弘
『italian wines 2017』Gambero Rosso (Gambero Rosso)
『wallpaper』City Guide BERLIN』Wallpaper Magazine (PHADION)
『Time Out LONDON'S BEST SHOPS』Time Out (Time Out)
『東京空気公園』tsukao (主婦の友社)
『LUXE CITY GUIDES HANOI』Luxe Asia Ltd. (Luxe Asia Ltd.)
『インドで考えたこと』堀田書福 (岩波新書)
『雪男は向こうからやて来た』角幡唯介 (集英社)
『旅する南極大陸』神沼克伊 (三五館)
●江口宏志 何かしたくなる10冊
『Dàshēnka ダーシェンカ あるいは子犬の生活』Karel Čapek 保川亜矢子/訳
『IN THE WILDS』NIGEL PEAKE
『GREENHOUSE STUDIES』Philippe Weisbecker
『The man who never experienced anything』Luuk Wilmering
『秘密基地の作り方』尾方孝弘 (飛鳥新社)
『EVERY-THING THAT CAN HAPPEN IN A DAY』David Horvitz (Mark Batty Publisher)
『歌集 食卓の音楽』杉崎恒夫 (六花書林)
『BERLIN』Freunde von Freunden
『THE BROOKLYN FOLLIES』PAUL AUSTER 柴田元幸/訳 (新潮社)
『THE NEW ARTISANS』Olivier Dupon
●ホンマタカシ
『Juergen Teller - Photographs』Juergen Teller
『plusieurs possibilités』Johns Willy
『東京1934〜1993』桑原甲子雄
『William Eggleston 26/03/98』William Eggleston
『Jack Pierson』Angel Youth』Jack Pierson
『土を喰ぶ日々 わが精進十二ヶ月』水上 勉 (文化出版局)
『よるのびょういん』尾川俊太郎/作、長野重一/写真
『サルでも描けるまんが教室①』相原コージ・竹熊健太郎
『Almost Grown』Joseph Szabo
『What we bought: The New World - Scenes from The Denver Metropolitan Area 1970-1974』Robert Adams
『Cy Twombly Kestner - Gesellschaft Hannover 7. Mai bis 20. Juni 1976』Cy Twombly
『エーメルと探偵たち』エーリヒ・クストナー (岩波書店)
●ブックガイド01 暮らしを変えた本
『RETHINK』Tom Dixon
『Block Beuys』Joseph Beuys
『E.G.ASPLUND アスプルンドの建築1885-1940』(TOTO出版)
『中国古典の知恵に学ぶ菜根譚』洪自誠 (ティスカヴァー・トゥエンティワン)
『AGRICULTURE』Rudolf Steiner
『SHAKER STYLE』John S. Bowman (JG Press)
『20世紀の人間たち肖像写真集』アウグスト・ザンダー (リポレポート)
『ろーかるでざいんのおと 田舎意匠帳一あのひとが面白い あのまが面白い』鈴木輝隆 (全国林業改良普及協会)
『しつけ帖』幸田 文 (平凡社)
『忘れられる過去』荒川洋治 (みすず書房)
『作家の家』(平凡社)
『大きな魚をつかまえよう リンチ流アート・ライフ∞瞑想レッスン』
『ルージュ・リリー』トニー・パークス (ヒュース・テン)
『関西風料亭料理』後藤金吉
『海からの贈りもの』アン・モロウ・リンドバーグ (学習研究社)
『てんきごとじん』(PIE BOOKS)
『フナ帯文化』梅原 猛 (ほか13名) (新思泉社)
『カントリー・ダイアリー』イーディス・ホルデン
『A HOUSE IS NOT A HOME』Bruce Weber
『GONZO』Hunter S. Thompson

●ブックガイド02
『モノ誕生』いまの生活―日本人の暮らしを変えた133のモノと提案 1960-1990』水牛くらぶ (晶文社)
『BOOKS 』MURRAY McCAIN & JOHN ALCORN (AMMO Books)
『世界の不思議な図書館』アレックス・ジョンソン (創元社)
『old paper』倉敷意匠アチプランチ
『Woodstock Handmade Houses』Robert Haney & David Ballantine (Haney Books)
『ブックストアーニューヨークで最も愛された書店』リン・ティルマン (晶文社)
『書庫を建てる:1万冊の本を収める狭小住宅プロジェクト』松原隆一郎、堀部安嗣 (新潮社)
『7 Reece Mews』Francis Bacon's Studio』Perry Ogden (Thames & Hudson)
『死の線』鳥尾敏雄 (新潮社)
『赤目八瀬心中未遂』車谷長吉 (文藝春秋)
『人間滅亡の人生案内』深沢七郎 (河出書房新社)
『愛のことはもう仕方ない』柊野浩一 (サイゾー)
『鳥たちのふしぎ・不思議』加藤幸子、樋口広芳 他 (晶文社)
『写真歳時記スズメ』小林清之介 (真珠書院)
『Ornithology』Anne Geene & Arjan De Nooy (De Hef)
『コンヴィヴィアリティのための道具』イヴァン・イリイチ (筑摩書房)
『忘れられた日本人』宮本常一 (岩波書店)
『シュエカー・デザイン展図録』(セゾン美術館)
『The Book of Shaker Furniture』John Kassay (Univ of Massachusetts Press)
『Shaker Design』(Whitney Norton)
『シェーカー・クッキング』宇土巻子 (柴田書店)
『親子の時間』庄野潤三 (夏葉社)
『漫画 君たちはどう生きるか』吉野源三郎/原作、羽賀翔一/漫画 (マガジンハウス)
『まじめに生きるって損ですか?』雨宮まみ (ポット出版)
『私、子どもが欲しいかもしれない』犬山紙子 (平凡社)
『降伏の記録』樺本一子 (河出書房新社)
『キッスファイヤー・ドットコム』海猫沢めろん (講談社)
『連日日記』ヤマシタトモコ (祥伝社)
『あなたが子供だった頃、わたしはもう大人だった』川崎 徹 (河出書房新社)
『日高敏隆 ネットの時間』日高敏隆 (平凡社)
『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』川上和人 (新潮社)
『森の探偵 無人カメラがとらえた日本の自然』宮崎 学、小原真史 (亜紀書房)
『奇界生物図鑑』エクスナレッジ/編 (エクスナレッジ)
『1712 North Crescent Heights: Dennis Hopper Photographs 1962-1968』Dennis Hopper (Greybull)
『I Like to Eat Right on the Dirt: A Child's Journey Back in Space and Time』Danny Lyon (Bleak Beauty Books)
『Sweet Earth:Experimental Utopias in America』Joel Sternfeld (Steidl)
『発酵の技法―世界の発酵食品と発酵文化の探求』(オライリー・ジャパン)
『BORO』都築響一 (アスペクト)
『Some More Hong Kong Seating Arrangements』Michael Wolf (Peperoni Books)
『STUDIO MUMBAI - Praxis』スタジオ・ムンバイ (TOTO出版)
『Inside Chefs' Fridges, Europe:『地球の上に生きる』アリアン・ペイ=ローレル (草思社)
『猫語の家』(平凡社)
『天才 勝新太郎』春日太一 (文春新書)
『VUE IMPRENABLE Essay on the World of Folon』Giorgio Soavi (CHENE)
『The Mill』Matthias Schaller (Steidl)
『FRIDA KAHLO』Gisèle Freund (ABRAMS)
『住宅巡礼』吉村好文 (新潮社)
『集落への旅』原 広司 (岩波新書)
『旅 インド・トルコ・沖縄』安藤忠雄 (星雲社)
『陽のかたち』高松 伸 (筑摩書房)
『見る測る建築』遠藤勝助 (TOTO出版)
『藤森照信、素材の旅』藤森照信 (新建築社)
『冒険図鑑 野外で生活するために』さとうち藍/文、松岡達英/絵 (福音館書店)
『古来種野菜を食べてください。』高橋一也 (晶文社)
『手づくりのすすめ』自然食通信編集部/編 (自然食通信社)
『野生のおくりもの』早川ユミ (アノニマス・スタジオ)
『発酵文化人類学 微生物から見た社会のカタチ』小倉ヒラク (木楽舎)

『DEN STORE DANSKE MØBEL GUIDE』Per H.Hansen、Klaus Petersen (Lindhardt og Ringhof)
『デンマークの椅子』織田憲嗣 (ワールドフォトプレス)
『別冊太陽 デンマーク家具』山根郁信/編 (平凡社)
『40 Years of Danish Furniture Design』(Lindhardt og Ringhof)
『千年万年りんごの子』田中 相 (講談社)
『ニューヨークで考えた中』近藤聡乃 (亜紀書房)
『カボチャの冒険』五十嵐大介 (竹書房)
『ぼくらのファンカ祭』真造圭伍 (小学館)
『海辺へ行く道 してまた、夏』三好 銀 (KADOKAWA)
『chaos』Josef Koudelka (PHADION)
『PIPELINE ICELAND/ ALASKA』石塚元太良 (講談社)
『時の鳥々』東松照明/写真、今福龍二/文・編 (岩波書店)
『EXPEDITION SVALBARD』(Steidl)
『三谷龍二の木の器』三谷龍二 (アトリエ・ヴィ)
『作ること暮らすこと』嶋山三希子 (産業編集センター)
『小嶋亜創 陶芸と生活』小嶋亜創 (Kaikai Kiki)
『黒田泰藏 白磁へ』黒田泰藏 (平凡社)
『はじまりのトップ 左藤吹きガラス工房奮闘記』木村衣有子 (亜紀書房)
『蜂飼耳 詩集』蜂飼 耳 (思潮社)
『小説』四元康祐 (思潮社)
『桜前線開架宣言 Born after 1970 現代短歌日本代表』山田 航/編著 (左右社)
『歌集 ひとさらい』笹井宏之 (書誌侃侃房)
『天の川銀河発電所 Born after 1968 現代俳句ガイドブック』佐藤文香/編著 (左右社)
『自生地』福田若之 (東京四季出版)
『未井昭のダイナマイト人生相談』未井 昭 (亜紀書房)
『笑われる勇氣』蛭子能取 (光文社)
『人生バングラダッシュ』町田 康 (KADOKAWA)
『漫画 君たちはどう生きるか』吉野源三郎/原作、羽賀翔一/漫画 (マガジンハウス)
『まじめに生きるって損ですか?』雨宮まみ (ポット出版)
『私、子どもが欲しいかもしれない』犬山紙子 (平凡社)
『降伏の記録』樺本一子 (河出書房新社)
『キッスファイヤー・ドットコム』海猫沢めろん (講談社)
『連日日記』ヤマシタトモコ (祥伝社)
『あなたが子供だった頃、わたしはもう大人だった』川崎 徹 (河出書房新社)
『日高敏隆 ネットの時間』日高敏隆 (平凡社)
『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』川上和人 (新潮社)
『森の探偵 無人カメラがとらえた日本の自然』宮崎 学、小原真史 (亜紀書房)
『奇界生物図鑑』エクスナレッジ/編 (エクスナレッジ)
『昆虫の交尾は、味わい深い…。』上村佳幸 (岩波書店)
『動物になって生きてみた』チャールズ・F・フォスター/著、西田美緒子/訳 (河出書房新社)
『絵本 眠れなくも 宇宙のはなし』佐藤勝彦/作、長崎訓子/絵 (講談社)
『Cooking for Geeks 料理の科学と実践レシピ』ジェフ・ボッター/著、水原文 訳 (オライリー・ジャパン)
『マッカンドルー航海記』チャールズ・シェフィールド/著、酒井昭伸/訳 (創元SF文庫)
『世界をつくった6つの革命の物語 新・人類進化史』スティーブン・ジョンソン/著、大田直子/訳 (朝日新聞出版)
『数学する身体』森田真生 (新潮社)
『世界でもっとも美しい10の科学実験』ロバート・P・クリース/著、青木 薫/訳 (日経BP社)
『これでおおいこ ウディ・アレン短篇集』ウディ・アレン/著、伊藤典夫、浅倉久志/訳 (CBS・ソニー出版)
『唐獅子株式会社』小林信彦 (フリースタイル)
『天才 勝新太郎』春日太一 (文春新書)
『竜馬がゆく』司馬遼太郎 (文春文庫)
『ざんねんないきもの事典』今泉忠明/監修 (高橋書店)
『人間そっくり』安部公房 (新潮文庫)
『部屋』エマ・ドナヒュー/著、土屋京子/訳 (講談社文庫)
『ヤイトスッド』吉村萬志 (講談社)
『氷』アンナ・カヴァン/著、山田和子/訳 (ちくま文庫)
『星の子』今村夏子 (朝日新聞出版)

